

様式第3号（第13条関係）

会 議 録

会議の名称	朝霞市地域公共交通協議会（運賃部会（内間木線））	
開催日時	11時00分から 令和6年12月18日(水) 11時20分まで	
開催場所	朝霞市民会館「ゆめばれす」 リハーサル室	
出席者及び欠席者の職・氏名	出席者（委員5名） 村沢委員（部会長）、野口委員、関東運輸局埼玉支局 福地氏（高木委員代理）、高橋委員、伊藤委員 （事務局6名） 村沢審議監兼都市建設部次長兼まちづくり推進課長、持田同課主幹兼課長補佐、金井係長、須藤主任、舘山主任、玉木主事 欠席者なし	
議題	議題 （1）令和7年度の市内循環バス「内間木線」の運賃について （2）その他	
会議資料	・朝霞市地域公共交通協議会 運賃部会（内間木線） 次第 ・運賃部会（内間木線）構成員一覧 ・市内循環バス「内間木線」の運賃検討資料	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 ヶ月
	会議録の確認方法 出席者による確認	
傍聴者の数	－	

◎ 開会

（司会：持田主幹）

ただいまから「朝霞市地域公共交通協議会（運賃部会（内間木線））」を開催する。

本部会については、会議後に議事録を作成する都合上、録音や撮影をすることを御了承いただきたい。

それでは、次第に沿って進めていくが、まずは事務局から構成員を紹介させていただく。

——— 構成員紹介 ———

次に、次第2「部会長選出」に移る。

朝霞市地域公共交通協議会部会設置要綱第5条第1項の規定に基づき、部会長は「委員の互選によって定める」こととなっている。自薦・他薦は問わないため、どうか御意見のある方はいるか。

（野口委員）

運賃部会は、地域の方、行政、運輸局、交通事業者が構成員となっており、内間木線以外の交通機関の場合は一部メンバーも変わってくるため、固定されている朝霞市か関東運輸局かがよいと思われるが、地域のことをよくわかっており、市民の方と接する機会も多い朝霞市が部会長によいかと考えるがいかがか。

（司会：持田主幹）

ただいま朝霞市の村沢委員を推薦するとの発言があったがいかがか。

——— 「異議なし」の声あり ———

（司会：持田主幹）

異議なしとのことであるため、村沢委員に部会長の就任をお願いしたい。また、早速だが、議事の進行についてもよろしく願います。

（村沢部会長）

お引き受けする。改めてよろしく願います。

早速だが、議事に入る前に、改めて運賃部会について説明すると、運賃部会は独占禁止法の主旨に基づき、限られたメンバーでの開催となる。

会議録は、会議終了後、市ホームページにて公開することを予め御了承いただきたい。

それでは、会議次第に沿って、議事を進める。

議題（1）「令和7年度の市内循環バス「内間木線」の運賃について」事務局より説明をお願いします。

（事務局：金井係長）

市内循環バス「内間木線」の運賃の表を御覧いただきたい。資料のとおり、現在わ

くわく号については、大人１８０円・小児９０円、障害者運賃が大人９０円・小児５０円となっており、特別乗車証所持者は無料となっている。参考資料としては、近隣市のコミュニティバスとして、和光市と新座市が１８０円、富士見市が２００円となっている。また、市内を走る路線バスの初乗り運賃については、国際興業と東武バスウエストが２００円、西武バスが１８０円となっており、１２月から運行を開始したわくわくワゴン「ねぎし号」・「ひざおり号」については、大人２００円・小児１００円となっている。

また、今回の運賃部会及び協議会の前に、高橋委員と伊藤委員、バス協会の方、タクシー協会の方に参加いただいて、運賃について事前に意見をいただいた。その中では運賃を国際興業等の初乗り運賃の２００円にしたかどうかという御意見をいただいた。その意見の理由としては内間木を走る路線バスについては他の路線バスとのルート重複があり、ハイエースという限られた人数しか利用できない中で、安いから内間木線を使うという方がいるのではないかとということが内間木地区での意見交換会でも意見としてあった。また、タクシー協会の方は事業者目線としては２００円の方が対応しやすいのではないかと御意見をいただいた。また、わくわくワゴンとの関係で同じ市が行っている事業であるため、金額を統一した方がいいのではないかと意見もいただいた。一方で、「内間木線」については市内循環バスという枠組の中で運行しているため、他の路線と同じように１８０円のままでいいのではないかと御意見もいただいた。それらの意見を踏まえて、事務局の案としては、今後も引き続き西武バス等の動向や、別途御意見いただいた IC カード運賃の割引等も含めて、検討を続けていくことは前提として、今回については、資料の太線の四角で囲われている部分にあるとおり、大人１８０円・小児９０円で進めさせていただきたいと考えている。説明は以上である。

（村沢部会長）

御説明感謝申し上げます。

「内間木線」については令和７年４月で一部運行経路が変わる形での申請を予定しているが、あくまでも市内循環バスとしての運行であるため、他路線と同様１８０円がいいだろうという意見と、一方で２００円にした方がいいのではないかと意見も事前に伺った中ではあったとのことである。事務局としては市内循環バスとしての運行であるため、４月以降も引き続き運賃１８０円で運行していきたいということであるが、それらのことについて、皆様から御意見・御質問などあるか。

（高橋委員）

先ほどの事前の意見で２００円がおつりがなくていいという意見も出たが、運賃の変更ではなく IC カード利用を促進する等の運転手に負担にならない取組をさせていただいて、今回は１８０円として、運賃を２００円にするということについては、朝霞市内統一と一緒に変更する方がいいのではないかと考える。

（村沢部会長）

今高橋委員から、市内全体を考えた意見として、当面については１８０円でいった方がいいのではないかと御意見をいただいた。IC カードの対応等今後考えて

いかなくてもいけないこともあるが、今出た意見について、もしくはほかの意見等あるか。

（野口委員）

運行事業者として、今年の４月から１８０円で運行しており、現金の取扱いはかなり減ってきた。現金が２０％、キャッシュレスが８０％となっており、キャッシュレスの中の７０％が交通系 IC カードとなっている。おつりの大変さ等については、乗務員がタクシー運転手であるため、ほとんど苦にしていけない状況である。現在利用しているモバイル型の決済機については通信が速くスムーズに支払えているということは評価していただけているのではないかと考えている。１８０円を変えるかどうかについては、この路線だけでは決められない。朝霞市が事業として行っているため、統一の料金が必須なのではないかと交通事業者としては考える。

（村沢部会長）

ほかに意見はあるか。

（伊藤委員）

割引等について、IC 割引や、市の予算で乗れば乗るほどポイントが付くというのも一つの方法だと考える。また、個人的には２００円で「ねぎし号」・「ひざおり号」とそろえた方がいいと考えるが、内間木線については、車両は「ねぎし号」・「ひざおり号」と同様ワゴン型ではあるが、運行の取扱いとしては高橋委員がおっしゃったように市内循環バスであるため、今回提案のあった大人１８０円・小児９０円でいいのではないかと考える。ただ、運行事業者の方はおつりは問題ないとの話もあったが、利用者は高齢の方が多く、１８０円となると小銭の取扱いが大変な場合もある。今回はこの値段でよいと思うが、スムーズな運行のことを考えると将来的にはおつりの出にくい２００円等に変更することも検討していった方がいいのではないかと考える。

また、今回、運賃について考えるにあたり、武蔵野市のコミュニティバスに問い合わせたところ、できた当初から大人も子どもも１００円で、シルバー割も障害者割もない形で運行しており、高齢の方も障害のある方も一人として、地域全員で公共交通を支えていくという精神でそうしているということであった。将来的には値上げするかもしれないし、武蔵野市と朝霞市で規模も違うため難しいかもしれないが、今後金額について検討するにあたってその精神は持っていていいのではないと思う。

今後、おつりが出にくい金額にしたりする等の検討は必要とは思いますが、今回については、ほかの市内循環バスと同様の１８０円でいいのではないかと考える。

（村沢部会長）

ほかに意見はあるか。

（福地氏（高木委員代理））

今後２００円等への変更を検討していき、今回は現在出ている大人１８０円・小児９０円の案で支障ないのではないかと考える。

(村沢部会長)

それではほかに意見がなければお諮りする。令和7年度からの「内間木線」の運賃は、今まで出た意見を総合的に勘案し、180円とすることについて、異議なしでよろしいか。

———各委員より「異議なし」の声あり———

(村沢部会長)

それでは、部会協議が調ったことの証明の発行などの準備を事務局にお願いする。続いて、議題(2)「その他」に移るが、何か皆様からあるか。

(高橋委員)

もし運賃が200円に上がる場合は早めにお知らせいただきたい。

(村沢部会長)

事務局側でそのようにお願いする。

(伊藤委員)

来年以降、下内間木で運賃やルート、ダイヤ等について検討する場を設け、要望等していきたいと考えているのでよろしくお願いします。

(村沢部会長)

御意見感謝する。

今後、「ねぎし号」・「ひざおり号」が21条の運行から本格運行に移るタイミングが一つの契機としてあり、地域公共交通計画を来年度いっぱいに変えていく中でも今回いただいた意見等は参考とさせていただく。また、西武バスの初乗り運賃が今後180円から上がるようであればそれも一つの契機であり、今後様々なタイミングがあると思われるため、その際には協議会の場で御意見をいただきたい。

それ以外になれば、これにて議長を降り、進行を事務局にお返しする。

(司会：持田主幹)

以上で「内間木線」の運賃部会を終了とする。

本日は地域公共交通協議会から長時間にわたり御協議いただき、感謝を申し上げます。

以上